

## 小城市が誇れるもの

### 小城市ようかん羊羹

明治時代の初めに森永惣吉によって小城市の羊羹づくりが始まりました。日清戦争で甘味品として軍隊が買い上げ戦地に送ったところ、保存に優れていたため評判になり、多くの人に知られるようになりました。第二次世界大戦ごろ、物資不足のため生産できない時代もありましたが、それが終わると、甘いものが好きな消費者の支持もあり、日本の経済成長に合わせて生産量を拡大して佐賀県を代表する銘菓の一つとなりました。



## 郷土の先人



高田 保馬

1883年(明治16年)三日月町遠江に生まれ、京都帝国大学哲学科を卒業。京都帝国大学講師を初め九州帝国大学、京都帝国大学などの教授を歴任し、生涯を学問と教育に傾けました。わが国の経済学、社会学の第一人者であり、文学博士で歌人でもありました。1972年(昭和47年)88歳で死去しました。

高田先生が校歌を作詞された学校

- ・三日月小学校 ・北山小学校 ・武雄小学校 ・三里小学校
- ・武雄北中学校 ・小城中学校 ・三日月中学校
- ・有田工業高校 ・佐賀農業高校 ・佐賀西高校 ・佐賀北高校

教育委員会所在地：小城市三日月町長神田2312番地2

連絡先：0952-37-6131

学校数：小学校 8校、中学校 4校

## 晴田小学校の取組

晴田小校区は、清らかな水と優しい自然が育てたみかんの産地で、「天山みかん」として全国に出荷されています。3年生は郷土の産業であるみかんの生産にふれる機会として、地域のみかん農家の方や青少年健全育成会の方々の

ご協力とご指導をいただき、毎年、保護者も一緒にみかん狩りを行います。

みかんの香りに包まれ、甘いみかんをほおぼりながら、晴田校区の農業への理解を深め、郷土の良さを感じ取っています。



みかん狩りの様子

## 岩松小学校の取組

岩松小学校では地域の行事にも積極的に関わり、郷土を愛する心を育てています。秋に江里山地区で開かれる彼岸花まつりのイベントの一つである「かかしフェスティバル」への出品を4、5、6年生で取り組んでいます。総合的な学習の時間を使い、郷土の学習をし、その上でかかし作りをおこない、郷土のまつりを盛り上げようと取り組みました。



かかし作りの様子



かかしフェスティバル

## 牛津中学校の取組

牛津中学校では、3年生総合的な学習の時間で、牛津町在住の高齢者の方をお招きし、交流活動を行います。自己紹介では、「あそこの家のお孫さんね？」という会話があり、「若モンGO!」のゲームでは、一気に距離が近くなり、楽しい会話の雰囲気が生まれました。高齢者の方の話を聞き、知らない遊びが多いことに驚き、実際にやってみよう等、昔の遊びに興味・関心を持つことができました。



自己紹介の様子



昔遊びの様子

### 小城市の特徴や誇れるもの

- ・佐賀県のほぼ中央部に位置し、北は秀峰天山を望み、南は六角川を介し、有明海に面した自然豊かな土地である。
- ・春の訪れをつげる牛尾の梅林や小城公園の桜、芦刈海岸のムツゴロウ、初夏には祇園川のホタル、秋には江里山の棚田を彩る彼岸花、冬には天山の頂に白いベールを覆う雪など春夏秋冬のさまざまな姿を見せてくれる。

教育委員会所在地:小城市三日月町長神田2312番地2

連絡先:0952-37-6131

学校数:小学校 8校、中学校 4校

### 小城市郷土学習教材



内容(全108頁)

- ・郷土の歴史(原始～現在)
- ・郷土の先人達 12名紹介
- ・伝統芸能 8個 ・民話 4編



#### 中林梧竹

1827年小城市本町の小城藩士中林家に生まれました。1869年藩主に従い京都にいましたが1871年の廃藩置県で帰郷し書道に専念しました。51歳ごろより中国書道に着目し2度清国に渡り書を学んで、書道の奥義を極めて「書聖」と称されました。明治の三大書家の一人です。1913年三日月町の梧竹村荘で死去しました。86歳でした。

小城歴史読本(H24年作成)

### 三里小学校の取組

三里小学校では、地域と連携して郷土の特色を生かした様々な体験活動を行っています。3月に開催される地域イベント「牛尾梅まつり」には、4年生以上が、事前の清掃活動や当日の農産物販売、アトラクション参加などでまつりを盛り上げます。販売する農産物には、牛尾山の実習園で育てた大豆や野菜も販売します。地域の支援を受けながら、豊かな自然に恵まれた三里校区を愛する心を育てています。



農産物販売の様子

### 桜岡小学校の取組

小城市が生んだ書聖とも言われる書道家の「中林梧竹」。小学校の前身である興讓館でも教えたことがあるほか、生家も近くにあるので子どもたちは親しみを持っています。

桜岡小学校では、3年生から梧竹について学びはじめ、梧竹記念館に行ってその生涯にふれたり、作品を見学したりしています。今年度の12月に5・6年生は毛筆で年賀状を作成しました。3学期には、それを発展させ梧竹の文字を臨書し「梧竹カレンダー」を作成する予定です。



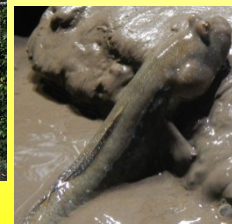
年賀状作成の様子

### 芦刈観瀾校(中学部)の取組

芦刈観瀾校では、7年(中1)生の「総合的な学習の時間」で芦刈町の歴史、地形、食、生き物、人について調べ学習を行い、「ふるさと芦刈」というパンフレットにまとめます。学習のまとめでは、文化発表会での発表を通して小学部や地域へ芦刈のよさを発信しています。



乙宮神社



ムツゴロウ



ワラスボ